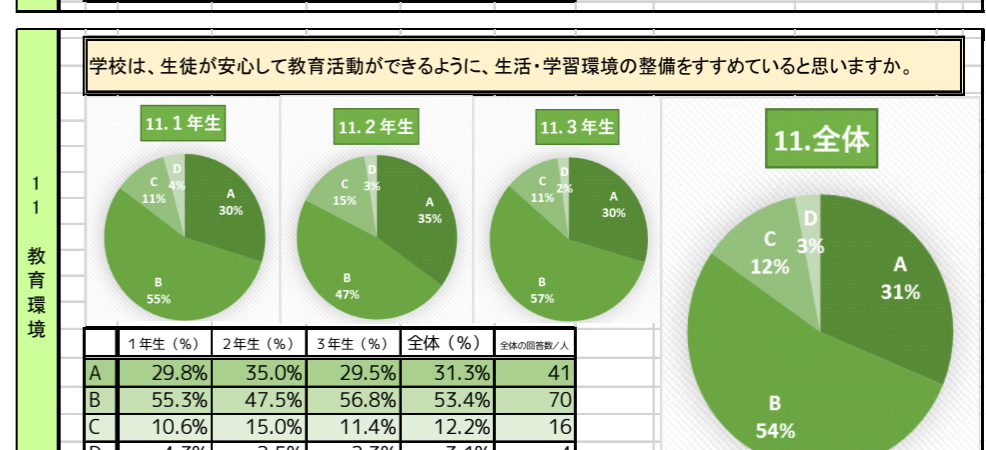
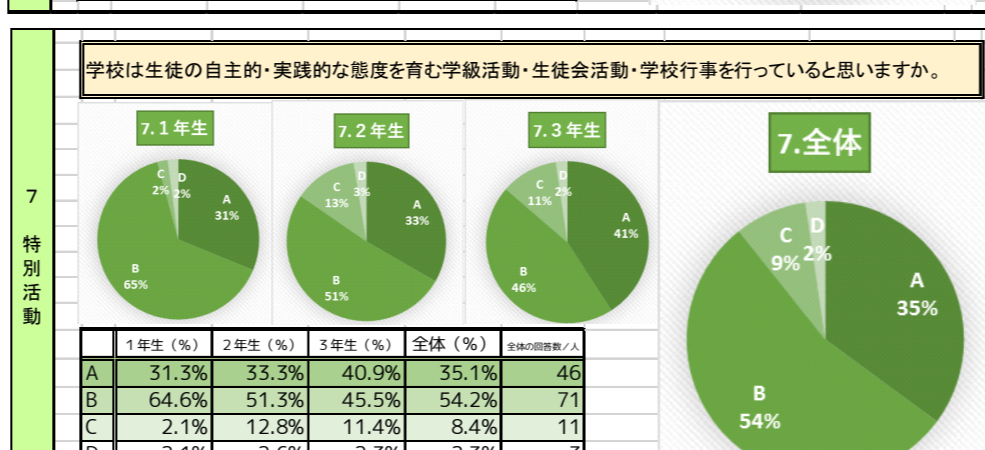
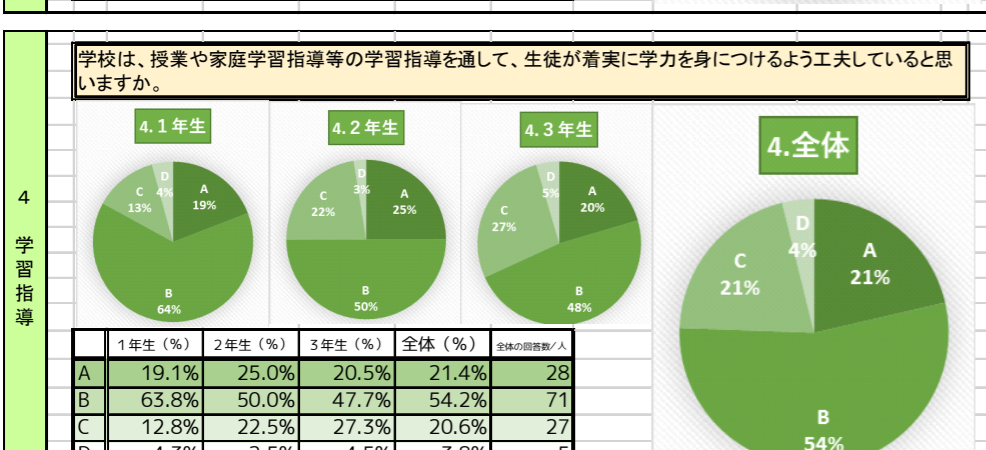
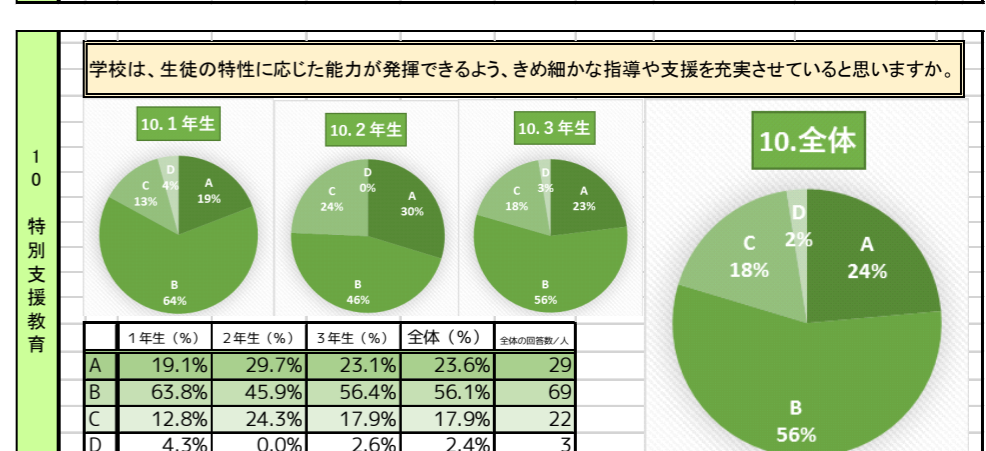
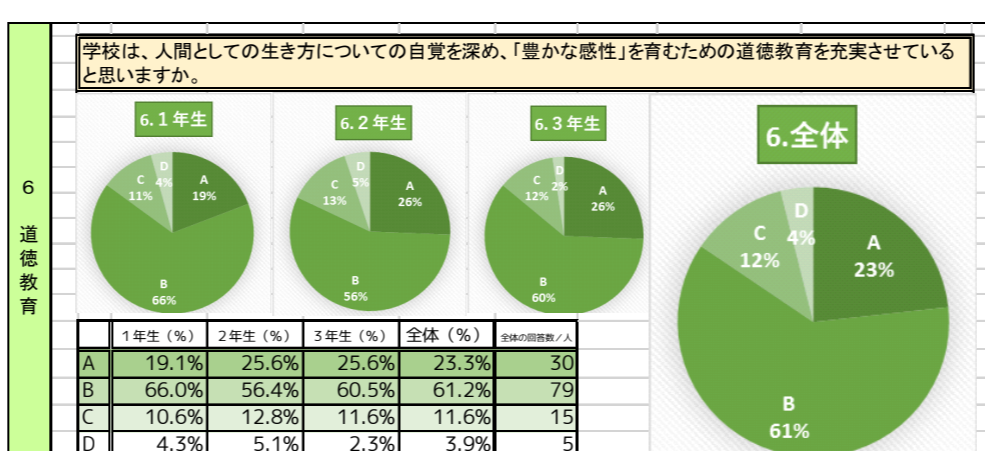
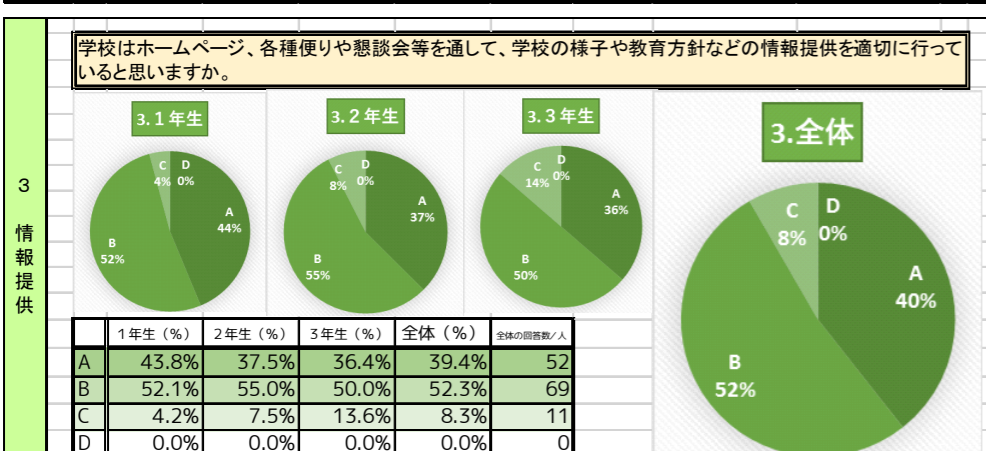
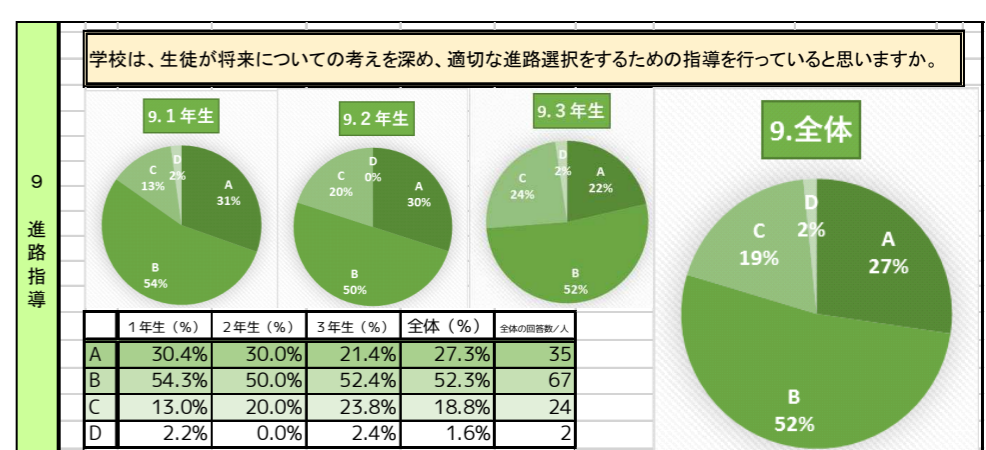
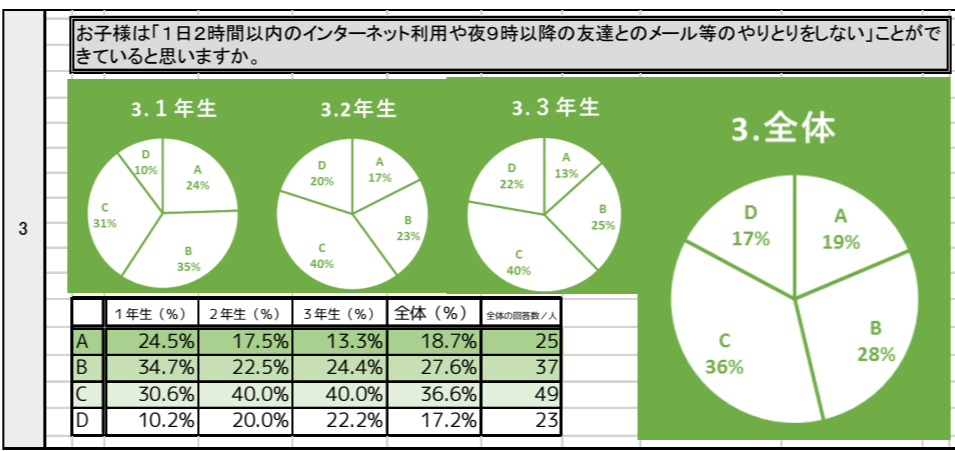
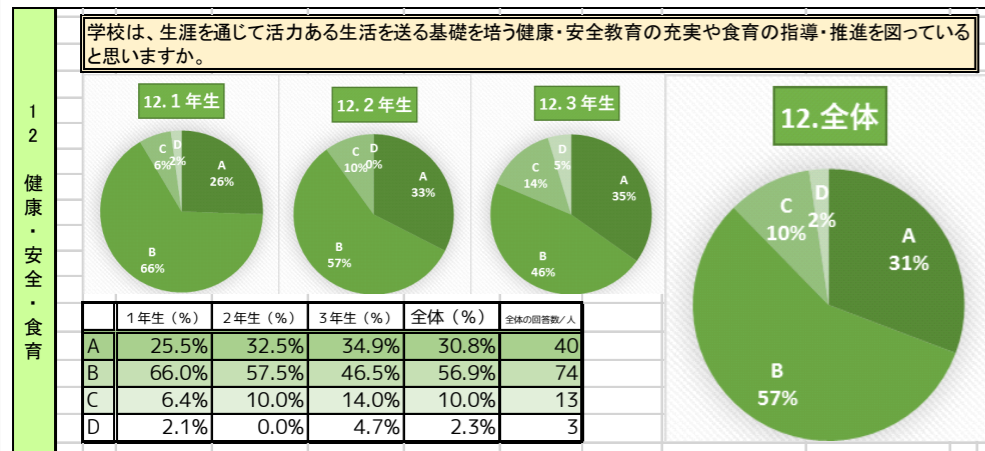


江別市立江陽中学校 学校だより 第12号  
学校教育アンケート特別号  
令和5年2月13日発行

学校教育アンケートへのご協力、たいへんありがとうございました。  
本校教職員への生徒へ向き合う姿勢への評価や、温かいお言葉をたくさんいただきました。たいへん励みとなりました。また、真摯に受け止めなければならないご意見もいただきました。  
保護者の皆様のご意見を生かしながら、生徒1人1人のよりよい成長のために、職員一同頑張りますので、今後ともご支援いただければ幸いです。



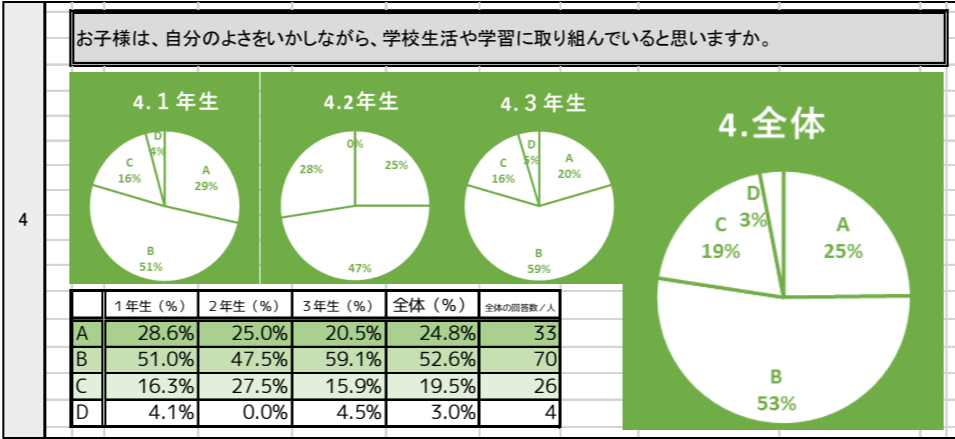
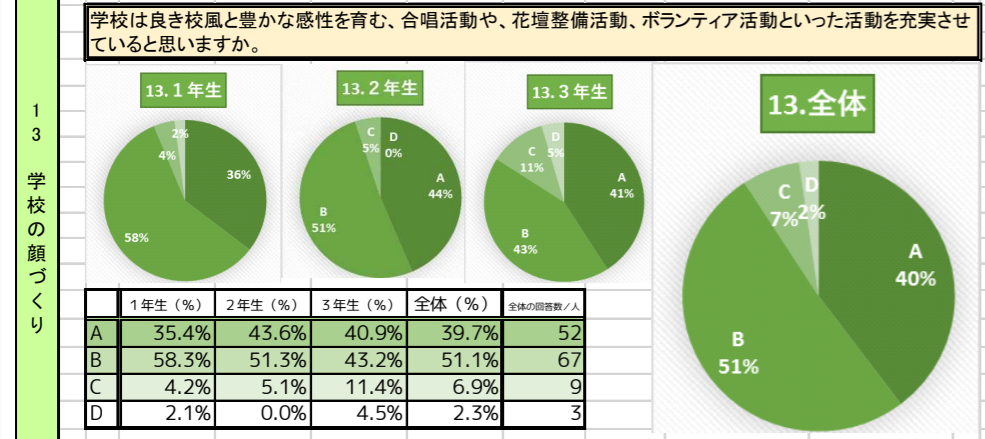


貴重なご意見ありがとうございました（多々ある意見の中から）。

**評価値から顕著なこと**  
AからDの評価をいただいた中では、「3. 情報提供」や「13. 学校の顔づくり」について、AとBの評価合計が90%を超えて、学校の取組について特に評価いただいたものと受け止めています。また「4. 学習指導」、「8. 生徒指導」についてはC・D評価の合計が25%と、次年度に向けてよりよい改善が求められているものと受け止めています。昨年度のアンケートと比較する（AとBの割合）と、「2. 保護者・地域との連携」（R3 83.1%→R4 89.3%）、「5. 総合的な学習」（R3 78.2%→R4 87.1%）となっており、学校の改善への取組が成果として表れ、伝わっているものと捉えています。

**学力向上について**  
課題の提示や振り返りの時間の確保を通して、生徒1人1人が今何を学び何ができるようになったかがわかるような授業を進めています。また、タブレット端末などのICT機器を活用した授業にも取り組み、様々なアプローチから生徒が学習に意欲的に取り組めるように努めています。ただ、学習したことがしっかりと定着するためには「時間をおいて」と「繰り返して」取り組むことが大切です。学校としてその機会は家庭での学習にもあると思います。そのためにお子様が学習したことをご家庭で復習する習慣づくりにご協力いただければと思います。

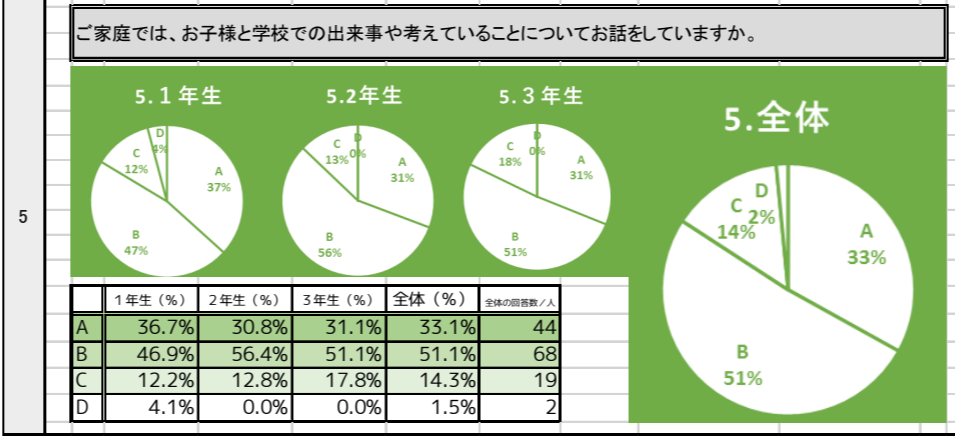
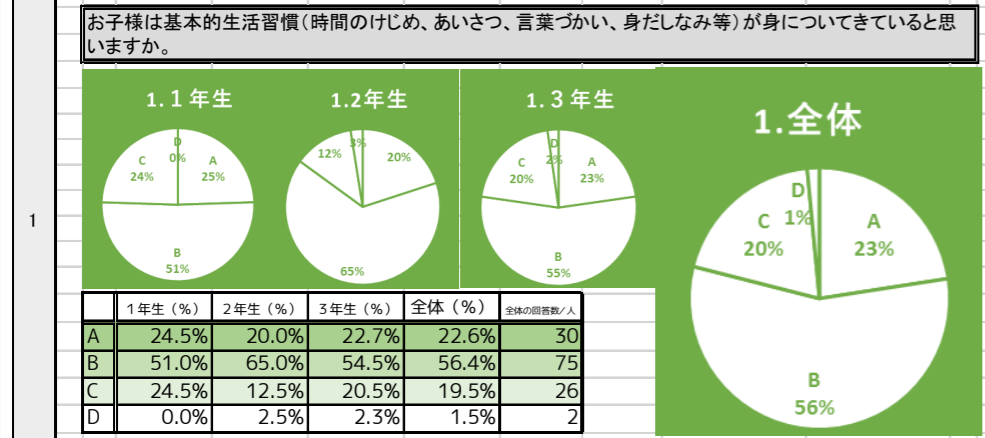
江陽中学校区の小中学校では「家庭学習を学年+10分取り組むこと」を目標として、児童生徒やご家庭に呼びかけています（中学1年生から3年生を「義務教育7年生から9年生」）。毎日の家庭学習に取り組むよう、ご家庭で声かけをお願いします。各教科でも家庭で取り組む課題の提供は今後も進めて参ります。また、「何を勉強してよいかわからない」「基礎を定着させたい」というお子様には、週末に持ち帰るタブレットPCを利用しAIドリルに取り組むこともよいと考えます。



**危機管理について**  
不審者への対応について、改善を求めるご意見をいただきました。不審者情報については学校で生徒への注意喚起・指導を行っています。事案によっては、できるだけ複数で下校するよう指導するとともに、マチコミメールで保護者の方にもお知らせしています。ご意見を参考に、今後も生徒の安全を最優先とした対応を校外ですすめて参ります。状況によっては、保護者の方に迎えに来て頂くなどの対応を取りますので、御協力をお願いします。

**情報発信について**  
学校や学級の様子が伝わってこないというご指摘がありました。コロナ禍ということもありまだ十分とは言えませんが、参観日や三者懇談等、学校に保護者の皆様に来校頂き、担任とお話いただく機会も昨年に比べ戻ってきています。お子様のことについて気になることがありましたら、学校からもご連絡いたします。ご家庭からも遠慮なくご相談いただければと思います。

配布文書のメール配信化についてもご意見を頂きました。配布する文書の性質等を踏まえ可能なものから、メールでの配信をすすめます。

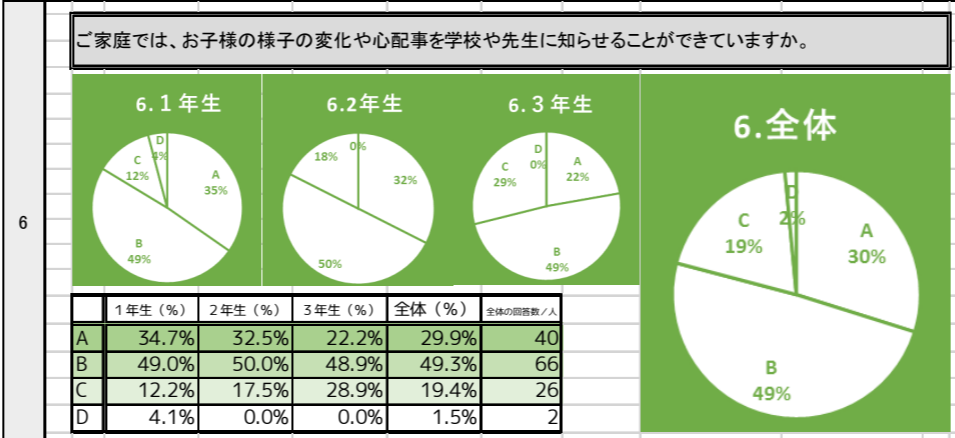
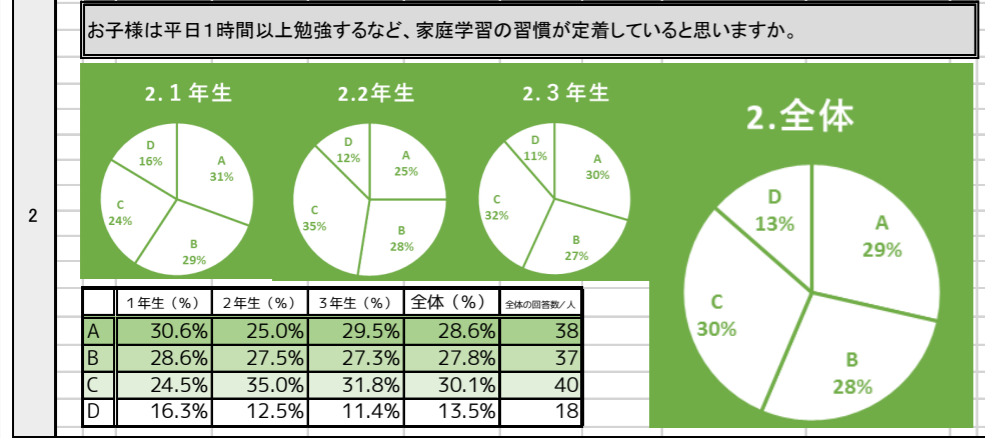


**学校施設の改修について**  
施設の老朽化や体育館トイレの使いにくさについてご意見を頂きました。開校以来の校舎であり、経年劣化も進んでいます。補習や改修については教育委員会に要望を出し、毎年少しずつ進めている状況です。修理・改修には大きな予算が掛かるものあり、簡単には改善は進みませんが、今後も必要な箇所の修理・改修が進むよう、市教委と連携して参ります。

**教職員の対応等について**  
本校の教職員について、学級や部活動などの教育活動の中で、生徒一人一人のことを気にかけて、保護者の皆様と連携しながら親身になって指導にあたっているとお言葉を頂きました。

一方で、強い指導や全体指導の在り方への疑問やご意見、一緒に寄り添って考えてくれる先生がいてほしいとの意見もいただきました。

本校の教職員は1人1人の生徒の成長を願い可能性を広げ伸ばしていこうと共通理解のもとに、それぞれの専門性をいかして、お子様の指導にあたっています。その場では必要程度の強い指導をしたりすることもありますが、そこで終わるのではなく、お子様のよさをみとめたり、今後の課題を伝えたりなど、学年部の先生や部活動の先生がチームとなって、生徒自身が考え行動していけるよう支える指導も行っています。江陽中の生徒がよりよく成長してほしいとの思いですべての教職員は指導にあたっておりますが、その思いや指導・助言が、お子様や保護者の皆様によりわかりやすく確実に伝わるように努めます。疑問などがございましたら、遠慮なくお問い合わせください。



**生徒の様子について**  
挨拶がしっかりとできる、楽しそうに学校に通っている、いじめがないなどのご意見を頂きました。江陽中の生徒は、素直で真面目であり、自分と仲間を大切に出来る生徒が多いと感じています。

中学校では、お子様がご家庭での声かけやご指導はもちろん、地域での見守りや、小学校において互いに認め合う環境の中でこれまで健やかに成長してきたであろうことを受け継ぎ、生徒に接しています。これからも、江陽中学校区全体でよりよい協働体制を築き、お子様の成長を支えて参ります。

アンケート回答数134（回収率58%）でした。ご協力ありがとうございました。